

## カーボンニュートラル行動計画参加者リスト

日本染色協会

企業名	事業所名	業種分類	CO2算定排出量※
第1種エネルギー管理指定工場(原油換算エネルギー使用量3000kl/年以上)			
ウラセ(株)		その他	11,632(t-CO2)
倉敷紡績(株)	徳島工場		18,408(t-CO2)
(株)コマクソン	本社製造部		9,508(t-CO2)
	白山製造部		6,419(t-CO2)
小松マテーレ(株)	根上工場		80,878(t-CO2)
	美川製造部		18,304(t-CO2)
サカイオーベックス(株)	二日市工場		13,015(t-CO2)
	花堂工場		16,378(t-CO2)
	合織工場		8,983(t-CO2)
(株)サカイナゴヤ			19,608(t-CO2)
(株)シキボウ江南			18,431(t-CO2)
セイショク(株)	岡山工場		6,952(t-CO2)
テックワン(株)			7,742(t-CO2)
東海染工(株)	浜松事業所		6,472(t-CO2)
東洋染工(株)			11,171(t-CO2)
見附染工(株)			6,183(t-CO2)
(株)ミツヤ			8,410(t-CO2)
和歌山染工(株)			9,080(t-CO2)
第2種エネルギー管理指定工場(原油換算エネルギー使用量1500kl/年以上)			
朝倉染布(株)			4,895(t-CO2)
東海染工(株)	岐阜事業所		2,274(t-CO2)
平岡織染(株)	草加事業所		3,587(t-CO2)
	滋賀ターボリン工場		3,150(t-CO2)

## ○注意点

・計画参加企業名及び業種分類について記載。

※以下の事業者・事業所については、地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法、平成10年法律第117号）の規定により、行政に報告した「エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素」の算定排出量を記載。

①全ての事業所の原油換算エネルギー使用量合計が1,500kl/年以上となる事業者（省エネ法の特定事業者）

②原油換算エネルギー使用量が1,500kl/年以上となる事業所（省エネ法のエネルギー管理指定工場等）

※温対法の温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度において、非開示とされた事業所においてはCO2算定排出量の記載は不要。

※原油換算エネルギー使用量が1,500kl/年未満の事業所については、事業所名を含め記載不要。

## ○業界分類

- (1)パルプ (2)紙 (3)板紙 (4)石油化学製品  
 (5)アンモニア及びアンモニア誘導品 (6)ソーダ工業品 (7)化学繊維  
 (8)石油製品（グリースを除く） (9)セメント (10)板硝子 (11)石灰  
 (12)ガラス製品 (13)鉄鋼 (14)銅 (15)鉛 (16)亜鉛  
 (17)アルミニウム (18)アルミニウム二次地金 (19)土木建設機械  
 (20)金属工作機械及び金属加工機械 (21)電子部品 (22)電子管・半導体素子・集積回路  
 (23)電子計算機及び関連装置並びに電子応用装置 (24)自動車及び部品（二輪自動車を含む）  
 (25)その他

## 【別紙2】各企業の目標水準値

### 各企業の目標水準及び実績値

日本染色協会

※独自に目標を設定している企業について、目標及び実績値を記載。

企業名 (事業所名)	目標指標	基準年度	目標水準	基準年度比削減率
				2021年度
朝倉染布(株)	エネルギー原単位	2020年度	前年度比1%以上削減	2.1%増加
		0.4432 (kl/千m <sup>2</sup> )		0.4523 (kl/千m <sup>2</sup> )
ウラセ(株)	CO <sub>2</sub> 排出量	2018年度	2030年度までに30%削減	36.1%削減
		18,161 (t)		11,596 (t)
	エネルギー原単位	2020年度	年平均で1%以上削減	5.6%増加
		0.5537(kl/t)		0.5845(kl/t)
(株)コマクソン 本社製造部	CO <sub>2</sub> 原単位	2020年度	年平均で1%以上削減	9.1%削減
		4.39 (t/万m <sup>2</sup> )		3.99 (t/万m <sup>2</sup> )
	エネルギー原単位	2020年度	年平均で1%以上削減	7.2%削減
		2.00 (kl/万m <sup>2</sup> )		1.86 (kl/万m <sup>2</sup> )
(株)コマクソン 白山製造部	CO <sub>2</sub> 原単位	2020年度	年平均で1%以上削減	19.5%削減
		6.92 (t/万m <sup>2</sup> )		5.57 (t/万m <sup>2</sup> )
	エネルギー原単位	2020年度	年平均で1%以上削減	15.6%削減
		3.46 (kl/万m <sup>2</sup> )		2.92 (kl/万m <sup>2</sup> )
小松マテーレ(株)	CO <sub>2</sub> 排出量	2013年度	グループとして、2030年度までに30%削減	22.5%削減
		4.74(t-CO <sub>2</sub> /t) グループ全体		3.67(t-CO <sub>2</sub> /t)
サカイオーベックス(株)	エネルギー原単位	2020年度	原単位向上 前年度比1%向上	1.8%向上
		1.423 (kl/t)		1.398 (kl/t)
(株)サカイナゴヤ	エネルギー原単位	2020年度	年間1%削減	0.24%増加
		0.4532 (kl/千m)		0.4543 (kl/千m)
(株)シキボウ江南	CO <sub>2</sub> 原単位	2018年度	年平均で1%削減	1.9%削減
		4.83(t/万m <sup>2</sup> )		4.74(t/万m <sup>2</sup> )
セイシヨク(株)	CO <sub>2</sub> 排出率	2012年度	年平均で1%以上削減	33%削減
		5.57(t-CO <sub>2</sub> )		3.73(t-CO <sub>2</sub> )
テックワン(株)	エネルギー原単位	2020年度	年1%以上削減	1.4%削減
		0.01629 (kl/疋)		0.01607 (kl/疋)
平岡織染(株) 草加事業所	CO <sub>2</sub> 原単位	2017年度	2021年度までに2017年度比3%削減	2.8%増加
		571(kg/千m <sup>2</sup> )		587(kg/千m <sup>2</sup> )
平岡織染(株) 滋賀ターポリン工場	CO <sub>2</sub> 原単位	2017年度	2021年度までに2017年度比3%削減	1.3%削減
		372(kg/千m <sup>2</sup> )		367(kg/千m <sup>2</sup> )
見附染工(株)	エネルギー原単位	2020年度	年平均で1%以上削減	1.49%削減
		0.5688(kl/千m <sup>2</sup> )		0.5603(kl/千m <sup>2</sup> )
(株)ミツヤ	エネルギー原単位 化石燃料	2020年度	年平均で1%以上削減	5.0%削減
		0.6513(kl/t)		0.6184(kl/t)
和歌山染工(株)	エネルギー原単位	2020年度	年平均で1%以上削減	5.8%増加
		479.3(kl/百万m)		507.2(kl/百万m)

管理指定工場外

前年度からの変更点				
項目	年度	変更前	変更後	理由
1. 目標指標				
2. 目標水準	2013年度	2008～12年度の平均値で、1990年度対比のCO2排出量を6.2%削減、114t-消費量を5.5%削減する。	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で3.9%削減する。	国内生産量の回復及び加工製品の付加価値化が進むが、省エネルギー活動も推進して、CO2排出量の増加抑制に努める。
	2014年度	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で3.9%削減する。	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で4.6%削減する。	国内生産量の回復が速く、2014年度の生産量(1840.5(百万m <sup>3</sup> ))は見通し(2034.4(百万m <sup>3</sup> ))の9.9%に止まったため、2020年度の見込み生産量を10%減らす。CO2原単位は2014年度の比で、(6.23(1-CO2/原単位))と同じとなったため、2020年度のCO2原単位は見通しの7.10(1-CO2/原単位)をそのまま維持する。従って、2020年度の見込みCO2原単位は3,187(百万m <sup>3</sup> ×0.9=2,918(百万m <sup>3</sup> ))となり、2020年度のCO2排出量は、2,918(百万m <sup>3</sup> )×7.10(1-CO2/原単位)=20.7(百万t-CO2)となる。これは基準年度(1990年度)比で、(377.2-202.4)/377.2×100=48(%)削減となる。
	2015年度	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で4.6%削減する。	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で5.3%削減する。	2015年度の生産量(182,383百万m <sup>3</sup> )は見通し(200,877百万m <sup>3</sup> )の91%に止まったため、2020年度の見込み生産量=285,007百万m <sup>3</sup> (当分予定)×0.91=259,452百万m <sup>3</sup> へ変更する。2015年度のCO2原単位は6.12と、見込み(6.38(1-CO2/原単位))の96%に止まったため、2020年度の見込みCO2原単位=7.10(当分予定)×0.96=6.82へ変更する。従って、2020年度のCO2排出量は、259,452(百万m <sup>3</sup> )×6.82(1-CO2/原単位)/1000=176.4(百万t-CO2)となる。これは基準年度(1990年度)比で、(377.2-176.4)/377.2×100=53(%)削減となる。なお、2015年度の114t-原単位は2.96と見込み3.06(百万m <sup>3</sup> )の96%に止まったため、2020年度の見込み114t-原単位は3.55×0.96=3.41(百万m <sup>3</sup> )へ変更する。
	2016年度	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で5.3%削減する。	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で5.9%削減する。	2016年度の生産量(181,703百万m <sup>3</sup> )は見通し(197,659百万m <sup>3</sup> )の92%に止まったため、2020年度の見込み生産量=258,762百万m <sup>3</sup> (当分予定)×0.92=238,061百万m <sup>3</sup> へ変更する。2016年度のCO2原単位は6.01と、見込み6.26(1-CO2/原単位)の96%に止まったため、2020年度の見込みCO2原単位=6.82(当分予定)×0.96=6.55へ変更する。従って、2020年度のCO2排出量は、238,061(百万m <sup>3</sup> )×6.55(1-CO2/原単位)/1000=155.9(百万t-CO2)となる。これは基準年度(1990年度)比で、(377.3-155.9)/377.3×100=59(%)削減となる。なお、2016年度の114t-原単位は2.87と、見込み3.04(百万m <sup>3</sup> )の94%に止まったため、2020年度の見込み114t-原単位は3.34×0.94=3.14(百万m <sup>3</sup> )へ変更する。
2017年度	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で5.9%削減する。	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で6.4%削減する。	2017年度の生産数量(182,145百万m <sup>3</sup> )は見通し(195,787百万m <sup>3</sup> )の93%に止まったため、2020年度の見込み生産量=238,061百万m <sup>3</sup> (当分予定)×0.93=221,397百万m <sup>3</sup> へ変更する。2017年度のCO2原単位は5.76と、見込み6.17(1-CO2/原単位)の93%に止まったため、2020年度の見込みCO2原単位=6.55(当分予定)×0.93=6.09へ変更する。従って、2020年度のCO2排出量は、221,397(百万m <sup>3</sup> )×6.09(1-CO2/原単位)/1000=134.8(百万t-CO2)となる。これは基準年度(1990年度)比で、(377.2-134.8)/377.2×100=64(%)削減となる。なお、2017年度の114t-原単位は2.82と見込み2.96(百万m <sup>3</sup> )の95%に止まったため、2020年度の見込み114t-原単位は3.14×0.95=2.98(百万m <sup>3</sup> )へ変更する。114t-使用量は1.98(百万m <sup>3</sup> )×221,397百万m <sup>3</sup> =659,763tへ変更する。	
	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で6.4%削減する。	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で6.9%削減する。	2018年度の生産数量(181,329百万m <sup>3</sup> )は見通し(195,229百万m <sup>3</sup> )の93%に止まったため、2020年度の見込み生産量=221,397百万m <sup>3</sup> (当分予定)×0.93=205,899百万m <sup>3</sup> へ変更する。2018年度のCO2原単位は5.82と、見込み6.58(1-CO2/原単位)の93%に止まったため、2020年度の見込みCO2原単位=6.09(当分予定)×0.93=5.66へ変更する。従って、2020年度のCO2排出量は、205,899(百万m <sup>3</sup> )×5.66(1-CO2/原単位)/1000=116.5(百万t-CO2)となる。これは基準年度(1990年度)比で、(377.2-116.5)/377.2×100=69(%)削減となる。なお、2018年度の114t-原単位は2.74と見込み2.88(百万m <sup>3</sup> )の95%に止まったため、2020年度の見込み114t-原単位は2.98×0.95=2.86(百万m <sup>3</sup> )へ変更する。114t-使用量は2.86(百万m <sup>3</sup> )×205,899百万m <sup>3</sup> =659,763tへ変更する。	
	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で6.9%削減する。	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で7.8%削減する。	2019年度の生産数量(176,260百万m <sup>3</sup> )は見通し(193,614百万m <sup>3</sup> )の91%に止まった事と、新型コロナウイルスの影響による生産量の減少を考慮し、2020年度の見込み生産量を205,889百万m <sup>3</sup> へ変更する。2019年度のCO2原単位は5.02と、見込み5.56(1-CO2/原単位)の90%に止まったため、2020年度の見込みCO2原単位は6.09×0.9=5.48へ変更する。従って、2020年度のCO2排出量は、205,889(百万m <sup>3</sup> )×5.48(1-CO2/原単位)/1000=82.6(百万t-CO2)となる。これは基準年度(1990年度)比で、(377.2-82.6)/377.2×100=78(%)削減となる。なお、2019年度の114t-原単位は2.60と見込み2.81(百万m <sup>3</sup> )の93%に止まったため、2020年度の見込み114t-原単位は2.86×0.93=2.65(百万m <sup>3</sup> )へ変更する。114t-使用量は2.65(百万m <sup>3</sup> )×193,327百万m <sup>3</sup> =421,621tへ変更する。	
2020年度	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で8.1%削減する。	2020年度のCO2排出量を、基準年度(1990年度)比で3.8%とする。	2020年度から2030年度の10年間の、差別化商品(Qualty商品)の輸出の増加を期待していたが、2020年にパンデミックを引き起こした新型コロナウイルスの影響により先行が見えない状況に陥っている。コロナにより大きく落ち込んだ生産数量にはならないと見られているため、2020年度からの回復を10%と見届もった。2020年度の実績は1,514,276千m <sup>3</sup> なので、2030年度の見込み生産量は、1,514,276千m <sup>3</sup> ×1.1=1,665,704千m <sup>3</sup> 。目標はカーボンニュートラルの製造部門にあわせ、基準年度に2013年度、削減率を38%とし、CO2排出量は72.2とした。現時点で達成率は85%といわれているが、今後生産設備の回復に伴いCO2排出量が増加、生産効率の悪化により各種原単位の増加も懸念され、目標達成の困難(＝＝)と見られる。	
3. 前提条件				
4. 想定しているBAF				
5. データの取扱い				
6. 報告範囲(バウンダリー)				

※前記各項目について変更が生じた場合は、変更年度と変更前後の情報、変更する理由を記載、前年度からの変更点のみならず、過去の変更情報がある場合、変更情報も併せて記載し、遡って確認できるようにすること。また、行が必要に応じて追加すること。

生産活動量、エネルギー消費量、エネルギー原単位、CO<sub>2</sub>排出量、CO<sub>2</sub>排出原単位の実績と見通し

O実績	指標	単位等	実績																														見通し - 目標水準 2030年度									
			基準年度 (2030年目標) 2011年度	1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度			
生産活動量	製造1比(2030年目標)	(%)	18.0	70.3	52.2	45.64	44.6	41.8	38.8	34.8	32.5	31.8	25.2	28.7	28.2	25.8	20.1	20.3	20.3	19.1	18.45660	18.4	18.2	18.2	18.2	18.1	17.6	15.1	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7			
	増減1比(2030年目標)	(%)																			10.8%	10.5%	9.5%	9.1%	9.4%	8.9%	5.8%	-9.1%	-6.7%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%				
	基準年度比(2030年目標)	(%)																			0.0%	-0.3%	-1.2%	-1.6%	-1.3%	-1.8%	-4.5%	-18.0%	-15.8%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%				
エネルギー消費量	原油換算ベース	(万k)	50.3	162.4	143.1	137.5	135.3	128.5	122.0	111.8	108.0	108.9	90.0	83.0	81.3	74.0	67.7	62.1	61.9	56.9	55.2	55.1	54.4	52.6	50.9	49.6	45.8	39.6	38.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.8		
	うち購入電力量	(万kWh)	58243.1	127892.7	112940.0	127584.1	124205.6	118071.9	112189.5	104124.9	99332.9	100547.0	86739.0	78554.9	79024.2	74515.5	61314.7	60669.3	63117.8	55937.8	58243.1	56196.7	55016.2	55617.8	52844.3	51149.3	48386.4	44246.4	45165.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46458.7		
	推移率(2030年度目標)	(%)																																								
	想定比	(%)																																								
	基準年度比(2030年目標)	(%)																				9.7%	9.6%	8.2%	4.6%	1.2%	-1.3%	-8.9%	-21.2%	-23.2%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%		
CO <sub>2</sub> 排出量	調整後排出係数	(万t-CO <sub>2</sub> )	116.3	377.4	322.5	300.1	300.4	283.0	267.3	244.2	239.8	239.8	195.9	179.3	173.5	151.2	123.0	121.9	129.0	116.4	116.5	115.4	112.3	109.7	103.9	98.2	87.9	78.9	74.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.2		
	推移率(2030年度目標)	(%)																																								
	想定比	(%)																																								
	基準年度比(2030年目標)	(%)																				0.0%	-10.9%	-36.2%	-92.3%	-286.4%	-1143.9%	-335.0%	-110.9%	-108.3%	-298.2%	-294.2%	-289.1%	-285.5%	-384.1%	-274.1%	-269.7%	-264.8%	-263.0%	-263.0%	-263.0%	
	2013年度比(2030年目標)	(%)																				0.0%	-1.0%	-3.8%	-5.8%	-10.8%	-15.7%	-24.5%	-32.3%	-35.7%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	
参考 CO <sub>2</sub> 排出量 (調整後排出係数)	調整後排出係数	(万t-CO <sub>2</sub> )		377.4	322.5	300.1	300.4	283.0	267.3	244.2	239.8	239.8	195.9	179.3	173.5	151.2	123.0	121.9	129.0	116.4	116.5	115.4	112.3	109.7	103.9	98.2	87.9	78.9	74.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	推移率(2030年度目標)	(%)																																								
	想定比	(%)																																								
	基準年度比(2030年目標)	(%)																				0.0%	-1.0%	-3.8%	-5.8%	-10.8%	-15.7%	-24.5%	-32.3%	-35.7%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	
	2013年度比(2030年目標)	(%)																				0.0%	-1.0%	-3.8%	-5.8%	-10.8%	-15.7%	-24.5%	-32.3%	-35.7%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	
エネルギー原単位	原油換算ベース	(万k/億円)	2.7	2.312	2.742	3.012	3.033	3.076	3.146	3.216	3.320	3.426	3.577	2.888	2.888	2.874	3.115	3.066	3.051	2.970	2.991	2.994	2.984	2.90	2.70	2.74	2.60	2.62	2.49										2.390			
	推移率(2030年度目標)	(%)																																								
	想定比	(%)																																								
	基準年度比(2030年目標)	(%)																				9.8%	10.0%	9.6%	6.4%	2.6%	0.5%	-4.5%	-3.9%	-8.7%												
	2013年度比(2030年目標)	(%)																				0.0%	-80.3%	-81.4%	-78.4%	-52.2%	-21.3%	-4.3%	37.1%	31.8%	71.4%											
CO <sub>2</sub> 原単位	調整後排出係数	(万t-CO <sub>2</sub> /億円)	6.3	5.372	6.178	6.576	6.733	6.776	6.895	7.024	7.368	7.540	7.785	6.239	6.162	5.871	6.109	6.016	6.355	6.088	6.312	6.269	6.158	6.040	5.704	5.415	4.987	5.210	4.818										4.330			
	推移率(2030年度目標)	(%)																																								
	想定比	(%)																																								
	基準年度比(2030年目標)	(%)																				0.0%	2.2%	7.8%	13.7%	30.7%	45.2%	66.8%	55.6%	75.4%												
	2013年度比(2030年目標)	(%)																				0.0%	-0.7%	-2.4%	-4.3%	-9.6%	-14.2%	-21.0%	-17.5%	-23.7%												
カーボン実績(企業数)				0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	60%	50%	52%	54%	50%	44%	38%	32%	40%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%			

O2020年度までの見直し																																					
指標	単位等	1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	
生産活動量	(億円)																				20.3	20.1	19.8	19.6	19.5	19.4	15.9	15.3	15.4	15.2	15.9	16.1	16.2	16.4	16.5	16.7	
エネルギー消費量	原油換算ベース (万k)																				60.6	61.4	60.0	57.9	56.2	54.5	42.2	39.9	39.8	39.7	39.6	39.6	39.7	39.7	39.8	39.8	
CO <sub>2</sub> 排出量	調整後排出係数 (万t-CO <sub>2</sub> )																				126.8	128.1	123.8	120.9	114.9	107.7	82.6	78.1	77.5	76.3	76.2	75.7	74.0	73.3	72.5	72.2	
エネルギー原単位	原油換算ベース (万k/億円)																				3.0	3.1	3.0	3.0	2.9	2.8	2.7	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	
CO <sub>2</sub> 原単位	調整後排出係数 (万t-CO <sub>2</sub> /億円)																				6.2	6.4	6.3	6.2	5.9	5.6	5.2	5.1	5.0	4.9	4.8	4.8	4.7	4.6	4.5	4.4	4.3
カーボン実績(企業数)																					0%	0%	0%	0%	40%	41%	42%	45%	46%	47%	47%	48%	48%	49%	49%	50%	50%

【備考】  
 ※推移率/達成率：2030年度の目標水準(基準年度からの削減幅)を100%として、目標水準と実績との比率。 推移率/達成率【基準年度目標】= (基準年度の実績水準-当年度の実績水準) / (基準年度の実績水準-2030年度の目標水準) ×100 (%)  
 ※想定比：当年度について予め想定した水準(基準年度からの削減幅)を100%として、想定水準と実績との比率。想定比【基準年度目標】= (基準年度の実績水準-当年度の実績水準) / (基準年度の実績水準-当年度の想定した水準) ×100 (%)  
 ※カーボン実績(企業数)：カーボンニュートラル行動計画参加企業のうち、実績データに含まれる企業数(アンケート回答社数等)の団体加盟企業数に占める割合

生産活動量、エネルギー消費量、エネルギー原単位、CO<sub>2</sub>排出量、CO<sub>2</sub>排出原単位の実績と見通し

指標	単位等	実績																														見通し・BAU水準 ・BAU比割減目標 2030年度						
		1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	
生産活動量	(億円)	70.3	52.2	45.6	44.6	41.8	38.8	34.8	32.5	31.8	25.2	28.7	28.2	25.8	20.1	20.3	19.1	18.5	18.4	18.2	18.2	18.2	18.1	17.6	15.1	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	見直し比(2030年目標)																															0.0						
エネルギー消費量	原油換算ベース	実績 (万kWh)		162.4	143.1	137.5	135.3	128.5	122.0	111.8	108.0	108.0	90.0	83.0	81.3	74.0	67.7	62.1	61.9	56.9	55.2	55.1	54.4	52.6	50.9	49.6	45.8	39.6	38.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	うち購入電力量	実績 (万kWh)		127692.7	112940.0	127584.1	124205.6	118071.9	112189.5	104124.9	89332.9	100547.0	86739.0	78554.9	79024.2	74515.5	61314.7	60669.8	63117.8	55937.8	58243.1	56196.7	55016.2	55617.8	52344.3	51149.3	48386.4	44246.4	45165.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	原油換算ベース	BAU比割減量 (万kWh)																																0.0				
	進捗率(2030年度目標)																															0.0						
	想定比																															0.0						
CO <sub>2</sub> 排出量	調整後排出係数	実績 (万t-CO <sub>2</sub> )		377.4	322.5	300.1	300.4	283.0	267.3	244.2	239.8	239.8	195.9	179.3	173.5	151.2	123.0	121.9	129.0	116.4	116.5	115.4	112.3	109.7	103.9	98.2	87.9	78.9	74.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	調整後排出係数	BAU比割減量 (万t-CO <sub>2</sub> )																																0				
	進捗率(2030年度目標)																															0						
	想定比																															0						
	参考:CO <sub>2</sub> 排出量(調整後排出係数)	実績 (万t-CO <sub>2</sub> )		377.4	322.5	300.1	300.4	283.0	267.3	244.2	239.8	239.8	195.9	179.3	173.5	151.2	123.0	121.9	129.0	116.4	116.5	115.4	112.3	109.7	103.9	98.2	87.9	78.9	74.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2013年度比(2030年目標)																															0.0%							
エネルギー原単位	原油換算ベース	実績 (万t/億円)		2.312	2.742	3.012	3.033	3.076	3.146	3.216	3.320	3.426	3.577	2.888	2.888	2.874	3.115	3.056	3.051	2.979	2.991	2.994	2.984	2.90	2.79	2.74	2.60	2.62	2.49									
	原油換算ベース	BAU比割減量 (万t/億円)																																0.0				
	進捗率(2030年度目標)																															0.0						
	想定比																															0.0						
	調整後排出係数	実績 (万t/億円)		5.372	6.178	6.576	6.733	6.776	6.895	7.024	7.268	7.540	7.785	6.239	6.162	5.871	6.109	6.016	6.355	6.088	6.312	6.268	6.158	6.040	5.704	5.415	4.987	5.210	4.818									
調整後排出係数	BAU比割減量 (万t/億円)																																0					
進捗率(2030年度目標)																															0							
想定比																															0							
カバー率(企業数)																															60%							

○2020年度までの見直し及びBAU比割減量の想定

指標	単位等	1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
生産活動量	(億円)																		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費量	原油換算ベース	実績 (万kWh)																	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
CO <sub>2</sub> 排出量	調整後排出係数	実績 (万t-CO <sub>2</sub> )																	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー原単位	原油換算ベース	実績 (万t/億円)																	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
CO <sub>2</sub> 原単位	調整後排出係数	実績 (万t/億円)																	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カバー率(企業数)																															0%					

【備考】  
※進捗率/達成率：2030年度の目標水準（基準年度からの削減幅）を100%として、目標水準と実績との比率。 進捗率/達成率【BAU目標】＝（当年度のBAU－当年度の実績水準）／（2030年度の目標水準）×100（％）

※想定比：当年度について予め想定した水準を100%として、想定水準と実績との比率。 想定比【BAU目標】＝（当年度の実績水準）／（当年度に想定したBAU比割減量）×100（％）

※カバー率(企業数)：カーボンニュートラル行動計画参加企業のうち、実績データに含まれる企業数（アンケート回答社数等）の団体加盟企業数に占める割合





【別紙6】対策リスト

実施した対策、投資額と削減効果										
	番号	対策名	対策内容	対策実施率	投資額		(年間)		(投資期間全体)	
					数量	単位	数量	単位	数量	単位
2020年度 まで	1	燃料転換と分散型ボイラーの導入（更新を含む）	重油からガスへ燃料転換に伴い、ボイラーも大型から小型複数へ更新		3,165.8	百万円	14,420	原油換算KL		
	2	省エネ型加工設備の導入（低浴比液流染色機以外）	乾燥機や水洗機を省力型・節水型へ更新		2,278.1	百万円	8,602	原油換算KL		
	3	低浴比液流染色機の導入	染色機設備の更新時に、水量の少ない染色機へ更新		2,559.2	百万円	3,186	原油換算KL		
	4	保温・排熱回収・制御方法の変更	加熱設備の保温、高温排水からの排熱回収等の各種省エネ対策		763.4	百万円	7,425	原油換算KL		
	5	照明のLED化	蛍光灯等、既存の照明をLEDへ変更		99.8	百万円	495	原油換算KL		
	6	電気機器のインバータ化	ブロアーなどをインバータ方式へ更新		27.5	百万円	66	原油換算KL		
2021年度	1	低浴比液流染色機の導入	染色機設備の更新時に、水量の少ない染色機へ更新		96	百万円	15	原油換算KL		
	2	温湿度センサー/PID制御の導入	コーティング機に蒸気制御弁を導入		0.2	百万円	10	原油換算KL		
	3	保温・排熱回収・制御方法の変更	加熱設備の保温、高温排水からの排熱回収等の各種省エネ対策		31.6	百万円	136	原油換算KL		
	4	照明のLED化	蛍光灯等、既存の照明をLEDへ変更		2.7	百万円	24	原油換算KL		
	5									
2022年度	1	低浴比液流染色機の導入	染色機設備の更新時に、水量の少ない染色機へ更新		30	百万円	10	原油換算KL		
	2	保温・排熱回収・制御方法の変更	加熱設備の保温、高温排水からの排熱回収等の各種省エネ対策		140	百万円	531	原油換算KL		
	3	照明のLED化	蛍光灯等、既存の照明をLEDへ変更		7.3	百万円	30	原油換算KL		
	4									
	5									
2023年度	1									
	2									
	3									
	4									
	5									

- ※1 業界として特に重要だと考えている対策を毎年度3～5つ程度記載。
- ※2 対策実施率は、業界内での対策の実施状況（最新設備の導入率等）を記載。
- ※3 2021年度実施の対策は必ず記入すること。

クレジット等活用実績																				
COクレジット合計(参考)																				
	2013年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	累計 t-CO2
クレジット取得量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クレジット削減量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CO <sub>2</sub> -クレジット																				
	2013年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	累計 t-CO2
取得量																				
削減量																				
CCMクレジット																				
	2013年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	累計 t-CO2
取得量																				
削減量																				
CO <sub>2</sub> 石炭質(非化石電源)削減(実効)当量																				
	2013年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	累計 t-CO2e
削減量の算出																				
削減量の算出(削減率)																				
削減率(削減率)																				
																				0.000431

※非化石電源二酸化炭素削減当量は、「非化石電源の量×全国平均係数×修正率」で算出する。  
 ※非化石電源二酸化炭素削減当量は、電力事業者から供給された電力の使用に応じて算出する二酸化炭素の排出量を上回るし、調整給出係数を使用している場合に適用可。

業務部門(本社等オフィス)の対策と削減効果							
	対策項目	削減効果					
		CO2削減量 (t-CO2/年)			エネルギー削減量 (MJ/年)		
		2021年度	2021年度まで	2022年度以降	2021年度	2021年度まで	2022年度以降
照明設備等	昼休み時などに消灯徹底化	0.00	0.77	0.00	0	15,879	0
	退社時にはパソコンの電源OFFの徹底化	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	照明のインバーター化	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	高効率照明の導入	0.00	60.81	0.00	0	1,255,157	0
	トイレ等の照明の人感センサー導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	照明の間引き	0.00	0.00	0.00	0	0	0
空調設備	冷房温度を28度設定にする	0.00	4.82	0.00	0	99,408	0
	暖房温度を20度設定にする	0.00	3.41	0.00	0	70,438	0
	冷暖房開始時の外気取り入れの停止	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	空調機の外気導入量の削減	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	氷蓄熱式空調システムの導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
エネルギー	業務用高効率給湯器の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	太陽光発電設備の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	風力発電設備の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
建物関係	窓ガラスの遮熱フィルム	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	エレベータ使用台数の削減	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	自動販売機の夜間運転の停止	0.00	0.00	0.00	0	0	0